

お問い合わせ
独立行政法人
日本学術振興会(JSPS)
研究事業部研究事業課成果発信係
TEL:03-3263-1699
<https://www.jsps.go.jp/hirameki/>

科研費
KAKENHI

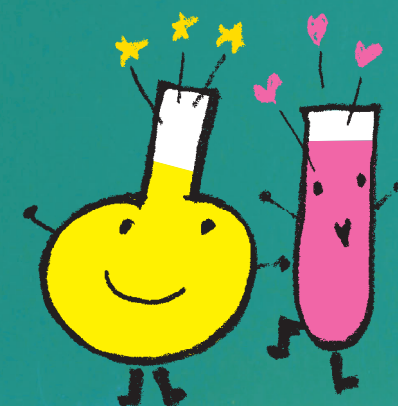
令和5(2023)年度 科研費の成果を体感する

小中学生・高校生向けプログラム

ひらめき★
ときめき
サイエンス

～ようこそ大学の研究室へ～

KAKENHI



JSPS

JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会



ひらめき☆ときめきサイエンス

いま、大学や研究機関で取り組まれている科研費による研究を、小学校5・6年生、中学生、高校生の皆さんに分かりやすく発信するそんな取り組みとして始まった、「ひらめき☆ときめきサイエンス」。

暮らしや社会を豊かにするための研究、地球や宇宙、生命の仕組みを知るための研究、新しいエネルギーや物づくりを支える研究…。

これからも、そんな研究を学び、体験するプログラムとして皆さんの夢を広げるお手伝いを続けていきます。

科研費と研究の関わり

科研費 (科学研究費助成事業)

国のお金をもとにした研究者の自由な研究を支える競争的研究費制度

大学 研究機関

科研費の助成を受けた研究者個人の独創的・先駆的な「学術研究」

ひらめき☆ときめき サイエンス

科研費から生まれた最先端の研究成果を皆さんに直に伝える取組

研究者の養成

大学院の博士課程で学ぶ学生や博士課程を修了した若手研究者が大学や研究機関で研究に専念できるように、研究奨励金を支給しています。また、優秀な博士課程の学生を顕彰するなど、研究者を育てるための取り組みも行っています。

若い研究者の卵をサポートすることが大切なんだね。

研究者 (大学、研究機関、企業で活躍)

若手研究者の卵をサポートすることが大切なんだね。

研究活動のサポート

科研費に関連したさまざまな取り組みをはじめ、世界トップレベルの研究拠点を形成するプログラムや課題設定による先導的人文学・社会科学研究を推進する事業を行っています。

科学研究費助成事業(科研費)って何？

What is KAKENHI ?

科学研究費助成事業(科研費)とは、大学や研究機関の研究者の自由な発想で取り組まれている研究を、研究費の面からサポートしている制度です。実際に研究を行っている研究者が審査員となって毎年、約10万件もの応募の中から、3万件ほどの研究が選ばれています。令和5(2023)年度の科研費の予算額は約2,388億円になり、人文学、社会科学から自然科学まですべての分野で研究活動を支援しています。

科研費の成果を知るには

科研費で取り組まれている研究については、科学研究費助成事業データベース(<http://kaken.nii.ac.jp/>)で調べる事もできます。詳しくはホームページをご覧ください。

日本学術振興会 科研費ホームページ

科研費の成果として世の中を大きく変えた研究もたくさん生まれてるんだって。

研究者の自由な発想に基づく研究を支援することが大切なんだね。

日本学術振興会(JSPS)って何？

What is JSPS ?

世界レベルの多様な知の創造、次世代の研究者を育てるためのさまざまな取り組みや海外の研究者との交流の機会づくり、よりよい大学をつくるためのサポートなどを行う機関です。

● 研究者との交流の場を提供

「ひらめき☆ときめきサイエンス」による大学や研究機関での体験プログラムをはじめ、世界各国の研究者を招待して行う高校生との交流プログラムなど、研究者との交流を積極的に推進しています。



▲科研費の成果をわかりやすく体験
「ひらめき☆ときめきサイエンス」



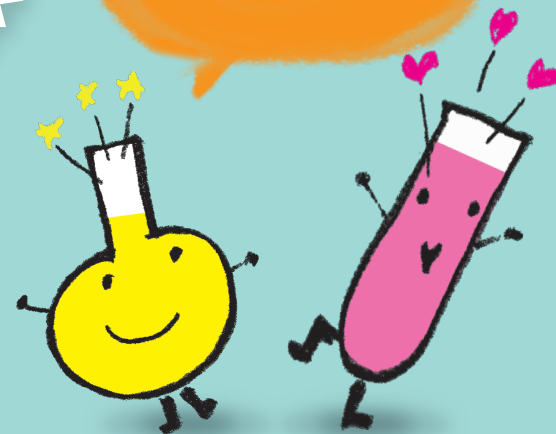
▲外国人研究者による研究や母国の文化についての講義
「サイエンス・ダイアログ」

大学院生
(若手研究者)

大学生

小・中学生
高校生

研究を支えたり、
研究する人を育てたり。
日本学術振興会の役割って、
いろいろあるんだね。



未来を担う小中学生、高校生の皆さんに、ぜひ参加してほしいプログラムです。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」は、科研費の事業の一環として、全国の国公立大学、大学共同利用機関や高等専門学校等の研究機関が開催しています。研究者が科研費による研究について、その中に含まれる科学の興味深さや面白さを、我が国の未来を担う小中学生、高校生の皆さんに分かりやすい形で直に伝え、科学的な好奇心を直に刺激して「ひらめき」、「ときめく」心の豊かさと知的創造性を育んでもらうプログラムです。平成17年度から事業を行い、令和4(2022)年度には、「ひら☆とき」事業開始以来の参加者が、累計で8万1千人を超えました。一人でも多くの皆さんの参加をお待ちしております。



今年度(令和5(2023)年度)の実施プログラムの
詳しい情報は、ホームページをご確認ください。
こちらから参加申し込みもできます。

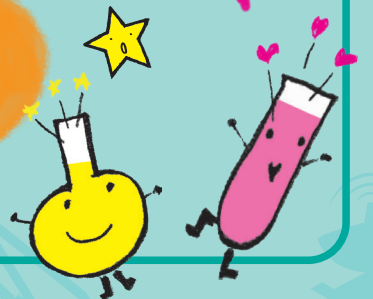
ひらめき☆ときめき サイエンス実施プログラム一覧

Q ひら☆とき 検索

※実施機関(大学や研究機関)に直接申し込むプログラムもあります。
実施プログラム一覧ページで申し込み方法をご確認ください。

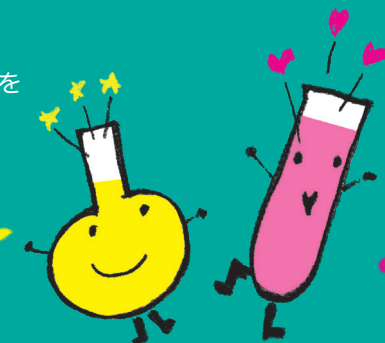
近くの大学でも
やってるから、
お父さんやお母さんに
相談してみようよ。

科学の楽しさ、
面白さ、素晴らしさを
感じ取ろう。



「ひらめき☆ときめき サイエンス」は、科研費が、どんな成果を生み出そうとしているのかを皆さんに知ってもらうために、大学や研究機関が開催しています。

最先端の研究成果を
実際に見て、体験できる
チャンスだね。



科研費が
どう役立っているか、
大学や研究機関で
確かめられるんだね。

ひらめき ときめき サイエンス

科研費が支える先駆的な研究 その成果を体感するプログラム

令和5(2023)年度も、児童生徒が全国各地の大学などの研究室を訪問し、実験やフィールドワークなどを実際に体験することで、最先端の研究成果を直に見て・聞き・触れることができる訪問体験型プログラムが多数用意されています。

昨年度(令和4(2022)年度) 実施プログラム例

医歯薬学・工学



小学5・6年生向け

ヒトの動きと力を計測しよう！
～計測から紐解くサイエンスの世界～

北海道科学大学
(加藤 士雄 保健医療学部理学療学科・准教授)

「ヒトの身体」を対象として、関節の動く範囲や筋肉の力強さを複数の方法で計測し、データの精度や尺度などについて学びました。

人文・その他



中学生向け 高校生向け

見て触って「プラクティス」で考える哲学

筑波大学
(土井 裕人 人文社会系・助教)

哲学のプラクティクス(実践)に向けて、哲学・思想の文献から重要な概念を3Dプリントしたモデルによる実演や、ワークショップを体験しました。

工学



中学生向け

かんたん電子工作で
ハートのドキドキを調べてみよう
～脈拍計測によるストレス評価～

木更津工業高等専門学校
(沢口 義人 電子制御工学科・教授)

脈波を計測して脈拍出現時に音や光を発する装置を組み立て、脈波や心電図の計測を実体験しました。

化学・工学



中学生向け

温度や光で変身！
不思議なプラスチックに触れてみよう

静岡理科大学
(小土橋 陽平 理工学部・准教授)

刺激応答性高分子(不思議なプラスチック)を通し、色や形の劇的な変化を体験し、科学の面白さを実感しました。

化学・その他



小学5・6年生向け 中学生向け 高校生向け

アロマ香る化学
～身近な果物でハンドクリームを作ろう～

宇部工業高等専門学校
(廣原 志保 物質工学科・教授)

身近な材料(ミカンの皮)から身近な製品(ハンドクリーム)を作製する実験を行い、化学や製品開発の魅力を学びました。

自然・生物



高校1・2年生向け

フンから調べるシカの数
～森と野生動物のつながりを探ろう！～

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
(環境研究部、食と農の研究部及び水産研究部)
(幸田 良介 生物多様性センター・主任研究員)

身近な生物多様性の問題としてシカによる森林生態系被害を取り上げ、フィールドワークでシカの数を知る調査を体験しました。

物理・化学



高校生向け

超伝導体の不思議な世界

九州工業大学
(小田部 荘司 大学院情報工学研究院・教授)

電気抵抗ゼロ、完全反磁性の二つの特異な性質を示す超伝導体を用いて、非日常な体験をしました。